

21日 庄内たがわ農協 いろいろ火の里なの花ホール

庄内たがわ農協（太田政士組合長）の第28回通常総代会が6月21日（水）、いろいろ火の里なの花ホール（三川町）で開かれ、任期3年の役員改選となります。

2022（令和4）年度の事業総利益は29億4431万2千円（前年度29億0579万7千円）、事業管理費は27億7516万3千円（同28億1821万7千円）で、事業利益は1億6914万9千円となり、前年度8757万9千円増

2022（令和4）年度から8157万円増加。事業外収支を合わせた経常利益は3億2837万5千円（前年度2億5960万4千円）です。

特別損益と税引後の当期剰余金は△2億6185万5千円（前年度1億9962万2千円）です。

庄内たがわ農協 合併前との比較(単位:千円)

	基準年1993年 平成5年度	2020年度 令和2年度	2021年度 令和3年度	2022年度 令和4年度	前年度との対比	基準年との対比	
正組合員数(人)	16,876	11,581	11,287	10,987	97.3%	65.1%	正組合員数(人)
職員数(人)	1,123	429	420	384	91.4%	34.2%	職員数(人)
資産	117,589,340	130,835,038	130,806,414	127,102,351	97.2%	108.1%	資産
負債	111,618,080	121,007,259	120,949,342	117,831,330	97.4%	105.6%	負債
資本(純資産)	5,971,260	9,827,779	9,857,072	9,271,021	94.1%	155.3%	資本(純資産)
当期剰余金	93,323	70,867	199,622	△261,855	△131.2%	△280.6%	当期剰余金
貯金	96,633,096	115,018,635	115,369,836	112,235,064	97.3%	116.1%	貯金
貸出金	36,394,244	29,852,717	32,368,791	32,858,273	101.5%	90.3%	貸出金
長期共済保有高	665,528,140	442,386,012	427,517,915	413,941,034	96.8%	62.2%	長期共済保有高
購買	19,815,583	3,808,432	3,368,898	3,844,257	114.1%	19.4%	購買
販売	30,276,797	13,706,326	12,719,876	12,714,912	100.0%	42.0%	販売
(米穀)	24,149,280	11,068,760	10,240,896	10,168,842	99.3%	42.1%	(米穀)
(園特)	3,263,811	1,667,780	1,534,951	1,632,240	106.3%	50.0%	(園特)
(畜産)	2,863,706	926,131	895,501	862,868	96.4%	30.1%	(畜産)
(産直店舗)		43,653	48,527	50,961	105.0%	-	(産直店舗)
自己資本比率		14.48%	14.24%	14.20%			自己資本比率

合併は1995年（平7）。職員数は合併直前との比較。臨時職員含む。
(株)あいとサービス2014年8月1日設立。燃料・葬祭が10月1日から、農機・車両が1月1日から事業開始

各農協の出資金等の比較

	JA庄内たがわ	JA鶴岡	JAあまるめ
正1人当出資金	347,699円	285,964円	813,294円
正1戸当出資金	457,834円	499,284円	1,011,295円
正1戸当販売額	1,523,839円	2,988,452円	2,192,185円
正1戸当購買額	460,721円	1,813,574円	1,179,969円
自己資本比率	14.20%	14.02%	19.44%
出資配当		1.0%	2.0%
特別配当		生産資材1.5%	米1俵200円 肥料飼料4.0% 農畜購買1.0% 園芸産直販売1.0% 農機軽トラ等1.0%

※JA庄内たがわの購買額は(株)あいとサービス除く
※JAあまるめの購買額はコープ除く。農機含む
(2023年度総代会・総会資料より)

円)で、損失金計上は合併後初めてです。当期赤字の主な要因は、「減損損失」5億4159万8千円を計上したこと。うち、大きなものとして、新余目支所は、イグゼあまるめの撤退に加え、今後の活用に見込みがないため、事務所以外が遊休資産となったとしています。処分可能見込額で評価し、簿価との差額4億9167万6千円を減損損失として計上しました。

リスク管理積立金6億5千万円から3億5000万円を取り崩し、土地再評価差額金4254万8千円を充当し、当期末処分剰余金は2億9516万4千円（前年度3億6447万1千円）としました。

利益準備金は行わず（前年度1億円）、任意積立金として新規に農業振興積立金1億5千万円を積み立て、配当は無く、次期繰越剰余

子会社
(株)あいとサービス
(代表取締役社長・五十嵐常勝)は、売上高48億2299万円（前年度48億4042万円）、経常利益1億2106万1千円（同1億1245万3千円）、当期純利益7898万5千円（同7200万5千円）を計上。2014（平成26）年8月1日に設立された100%出資の子会社です。

羽黒・のうきよう食品加工(有)（代表取締役社長・菅原勝）は、売上高6億2480万8千円（前年度6億3840万3千円）、経常利益245万4千円（同△897万1千円）、当期純利益198万4千円（同△994万3千円）です。

東田川文化記念館企画展

青森と岩手の伝統こけし展

7月1日(土)～9日(日)
 開館時間 9:00～16:30
 会場 ギャラリー藤 入場 無料



青森県の津軽系こけしの工人16名の作品を約50点と岩手県の南部系のこけし工人7名の作品8点と岩手県で遠刈田系のこけしを製作している工人2名の作品約50点を展示します。参考展示として温海の阿部進矢さんの作品も20～30点展示します。

土曜日と日曜日(ランチタイム除く)は、出展者の石黒清一氏が常駐するとともに7月9日(日)の10時30分から石黒清一氏によるギャラリートークを開催いたします。

山形県指定文化財



旧東田川郡役所 旧東田川郡議会室
 令和5年3月20日 国指定史跡に認定されました。

©2023 藤島文化スポーツ事業団
 東田川文化記念館 月曜休館日
 鶴岡市藤島宇山ノ前99 TEL0235-64-2537
 共催：鶴岡市教育委員会

マイナカード 立ち止まって検証を

マイナンバーカードのトラブルが相次ぎ、現場に不信と負担を広げています。マイナンバーカードには医療情報、年金情報、公金受け取り口座、別の人の情報が大规模にひもづけられ、マイナ保険証も医療機関でのトラブルがあつたとを絶たしません。

山形新聞・社説「マイナカード混乱拡大、全容把握し対策を急げ」(6/9)では、トラブルは「本県でも3件の

報告があつた」「信頼が回復できるまで既存の保険証廃止を延期するなど、いったん立ち止まる判断も必要ではないか。」と述べています。トラブル続出で、いったん運用を止める必要

があります。しかし、12日の参院決算委員会で、日本共産党の田村智子議員が、「立ち止まって検証を」求めたのに対し、岸田文雄首相は、国民の信頼確保と個人情報保護徹底のため、「取り組みをしっかりと進めていく」と述べるにとどまりました。

東田川史跡物語 の思うこと

青山 崇

2023年3月20日、
旧東田川郡役所・郡会

議事堂・東田川電気事業組合倉庫・同蔵とその敷地一帯が、国指定史跡(上図赤線内)・市教委『意見具申』所収になった。

名称が長いので。連載に当って、東田川文化記念館にあやかり、通称「東田川史跡」としたいが、如何でしょうか。

去る4月15日、私は『東田川郡役所等の国指定史跡にあたって思うこと』を講演した。その月の下旬、本紙

で馴染みの「きびちよ」氏から手紙が届いた。山新のコラム『気炎』が同封され、「今回話される事につながりがあるようで」と添書されていた。

「建築物の価値はそこにただ存在することに意味がある」というくだりがあつた。

私的に言えば、法隆寺を観たことは、千数百年前と今の自分を重ねて悠久の思いに浸たり、あるいは藁・萱葺の古民家が、自分の記憶を呼び起こさせ故郷

を想うということでしょう。史跡は、明治・大正以来、同場所に百数十年存在し続けてきたもので、歴史上または学術上価値が高いとして国指定になった。

この史跡は何を語り、何を想わせるかを深める物語になればと思います。

なお、教科書のような順序はなく、アッチコッチに行き来しますが、ご愛読のほどよろしくお願い致します。



国会がおかしい

この頃の国会、変に思いませんか。日本、どんな国になるんでしょうか。自公に維新と国民が、数を頼りに国民が心配する方向へ急激に進んでいます。

▲先ずはマイナンバー法だが、多くに不備があるのを分かっていながら可決したんだ。チヨット腰を落として考えてくれるのかと思つた良識の府と言われる参議院も、世間の心配に伝えてくれなかつたんだ。なぜ採決を急ぐのだ。

▲法律は出来た。しかし、これで仕事が出来の?これで仕事をさせられる行政も医療関係者も、今から紙の保険証が良いというんだからサ。2万円の手続きを急いだ人も、制度としては信用してないでしょう。まだカード作っていない人は、

ますます遠のくジャン。▲大臣の答弁は、真実を知らされないで書かれた物を読まされていったんだ。医者が、飲酒運転なら一発免許以上で酔っ払って仕事をしていたんだとは、恐ろしい国だ。それが外国人を扱う処なんだから。Gセブン議長国とは、笑わせるな。だろ。集団イジメと見られる動画も流れた。これが日本の国家公務員の仕事かと俺は思った。これを許す法律が成立だ。

▲次は軍事費だ。誰が考えたんだ?あの43兆円という莫大な金額は、何にナンボかかるかと積み上げたものじゃないんだ。しかし、どっからも出すあてもないのに、金額が一人歩きだ。

▲平和憲法の今、軍需産業というものはあるんだかネ。兵器を作る会社を、国が守る法律を作るってサ。日本何処に行くの?(石川)

